

NO 19	九州地域自立循環型住宅 「ハイブリッド・エコハウス」	エコワークス 株式会社		
提案概要・評価	自立循環型住宅設計手法を九州地域の気候風土に配慮したアレンジを加えて標準仕様化し、省CO ₂ 住宅の普及を図るプロジェクト。 九州地域の気候風土に配慮した設計手法をモデルハウスで実証し、モデルハウスの取り組みを踏まえて、省CO ₂ 住宅の普及を促す取り組みを評価した。			
事業概要	営業エリア	福岡県、熊本県	住宅仕様	2種類
	主な省エネ措置の内容	住宅省エネラベルの自主表示／九州地域の気候風土に配慮するようアレンジした設計／九州産の天然乾燥木材(杉・桧)を使用／簡易型ホームエネルギーマネジメントシステムの設置等		
	普及・波及に向けた取り組み	＜住宅ユーザー等への普及・波及の取り組み＞ これまでに蓄えた技術的知見と実証を踏まえ、福岡県に建設した本提案仕様によるモデルハウスの取り組みを踏まえ、省CO ₂ 住宅技術を普及推進のために、セミナーなどの活動を行う。		

参考図

【事業実施体制】

【省エネ住宅の全体像】

1) 環境設計手法

夏 通風、雨水の有効利用と日射遮蔽による冷房負荷軽減

① 風配図利用設計による通風計画と風を捕まえる窓計画

② 落葉樹の配置と、すだれ、外付けブラインドの設置による日射遮蔽を図る

③ 地冷熱利用採涼換気システムの採用

④ 遮熱ガラスと遮熱シートの採用

⑤ 雨水貯留槽を設置

冬 日射熱の有効利用による暖房負荷軽減

⑥ ガラスの使分けによる開口部からの日射取得熱の有効利用

⑦ 床材には蓄熱効果の高い樹種を使用

⑧ ダイレクトゲインを得る為の落葉樹の配置

2) 建物・設備の仕様規定

① 断熱性能 : 熱損失係数0値を2.1以下

② 冷暖房設備 : 高効率エアコン COP値、暖房4.6以上、冷房3.7以上

③ 換気設備 : 比消費電力0.2W/(m/h)以下の高効率換気機器

④ 給湯設備 : 水栓については節湯型機器 配管経路は小口径配管

⑤ 照明計画 : 全灯、蛍光灯又はLEDで計画

⑥ エネルギーの見える化

⑦ 省エネナビの設置